



鹿児島県プロモーション課長に就任したボクが鹿児島県で行っているさまざまな施策や取り組みについて紹介するぶー



きれいな景色と
おいしい食事を同時に
楽しめるなんて、
最高だぶー!



愛されて10周年 進化を続ける肥薩おれんじ鉄道

鹿児島県薩摩川内市と熊本県八代市を結ぶ肥薩おれんじ鉄道は、平成26年3月13日に開業10周年を迎えます。

全国からも注目を集める観光列車の運行や、さまざまなラッピング列車の展開など、今後もおれんじ鉄道から目が離せません。



沿線の景色と食を満喫 できる動くレストラン 「おれんじ食堂」

九州西海岸の八代海や東シナ海の雄大な景色が車窓に広がる肥薩おれんじ鉄道。平成25年3月から観光列車「おれんじ食堂」の運行を開始しました。車窓を流れる美しい景色とともに、沿線の特産物をふんだんに使用した料理や飲み物を楽しめます。列車からの眺めをゆくりと楽しめるよう、ビュースポットではスピードを落として運行するサービスも好評です。3月下旬からは朝食サービスやスイーツ列車などの運行も開始予定。九州西海岸の雄大な景色をのんびりと眺めながら堪能する食事は、おれんじ食堂ならではの醍醐味です。

1両まるごと! 貸切専用車両 「おれんじカフェ」

肥薩おれんじ鉄道では、平成25年8月に、移りゆく景色を眺めながらパーティーを楽しめる貸切専用車両「おれんじカフェ」が登場しました。家族や友人などの団体で1両まるごと利用でき、希望があれば、沿線のレストランのシェフが旬の素材を使用して作るおれんじカフェ特製弁当や特産品のお土産を提供することも可能。各種持ち込みも自由なので、友人同士でのパーティーや宴会など、使い方も楽しみ方も利用者のアイディア次第です。

新たなラッピング列車 も運行を開始

平成25年11月からは、かごしまPRキャラクター「ぐりぶー」と「さくら」のラッピング列車「ぐりぶーとさくらの5つ星列車」が運行を開始しました。列車のコンセプトは「らぶらぶlove」。乗車されたお客様にステキなご縁がありますようにとの願いが込められています。正面にはぐりぶーとさくら顔が、側面には車掌姿のイラストが描かれているほか、車両内部でもキューピッドに扮した

県や沿線自治体の 利用促進への取り組み

ふたりに会うことができます。県や沿線の自治体では、利用促進協議会を構成し、柑橘類の産地を走る鉄道のイメージをより定着させるため、駅に柑橘類の植栽を行ったり、鹿児島・熊本両県の小・中・高校生を対象とした絵画コンテストを実施するなど、県民に親しまれる鉄道としてのアピールに努めています。また、ラッピング列車を活用したキャンペーンの展開や、新たに改修される阿久根駅などでのイベントなど、今後も積極的に利用促進を図っていきます。

ぼくたちが
デザインされた列車に、
ぜひ乗車してほしい
ぶー!



お問い合わせ先：県庁交通政策課 ☎099(286)2465